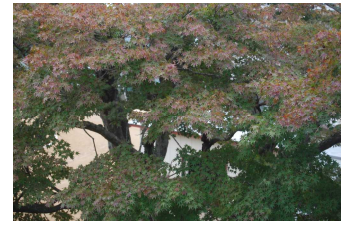




みんなが主役 豊岡小

大 楓



平成26年11月10日 No.13

銚子市立豊岡小学校 中西 健

全力で頑張りました。結果に悔いなし！



11月1日(土)2日(日)の2日間にわたり、市内親善ミニバスケットボール大会が開催されました。子どもたちは、5月末から約5ヶ月間、一生懸命練習に取り組みできました。みんなバスケットが好きで、この大会にかける想いは、私たち指導者以上だったかも知れません。

大会の結果は、男子は、本城小と海上小に破れ、残念ながら予選敗退となりましたが、女子は、高神小に

勝ち、昨年に引き続き、決勝トーナメントに進出しました。しかし、女子も決勝トーナメントでは、明神小に善戦したものの惜しくも敗退し、目標だった3位には、あと一歩及びませんでした。

今年の子どものすばらしさは、「ガッツ」と「チームワーク」です。身長やスピードでは他校が優位でしたが、この「ガッツ」と「チームワーク」においては、市内のどの学校にも負けないと思っています。実際に試合を見ていた方々から、「豊岡の子どもたちはガッツがあるね」という言葉をいただきました。

最後まであきらめず、力を出し尽くして戦った子どもたち。きみたちは、豊岡の誇りです。目標には届かなかったけれど、共に頑張ってきた仲間との思い出は、きみたちにとって、かけがえのない宝物となったはず。その思い出は、先生方も宝物として、これからもずっと大切にしていきます。

そして、大会まで、バスケット部を引っ張ってきた6年生。きみたちの熱い思いは、4・5年生の心にしっかりと刻まれました。きみたちの夢を託された後輩たちは、来年度、きっと頑張ってくれるはず。

最後に、大会まで、子どもたちを励まし支えていただいた御家族の皆様へ感謝申し上げます。皆様の支えがあって子どもたちは頑張れました。本当にありがとうございました。

心にしみる、やさしい歌声でした。



11月7日(金)に開催された銚子市小中学校合同音楽会。今年も、全校児童で参加しました。1年生から6年生までの全員が参加しているのは、豊岡小だけです。また、部活動ではなく、「全校音楽」という授業の中だけで練習しているのも本校だけです。

音楽会の前日、6日(木)の全校集会の校長の話で、いろいろな学年の子どもたちが一緒になって活動している様子をスクリーンで見せ、豊岡は全校のみならず力を合わせているいろいろなことを乗り越えていることを話しました。そして、音楽会では、全校で心をつなげて表現してほしいと伝えました。

当日は、発表順が2番目と音楽会が始まってすぐの出番でしたが、子どもたちは、それにも動じることなく、笑顔でのびのびと表現していました。子どもたちの表情の豊かさは、ひいき目ではなく、市内で一番だと思いましたし、やさしく響く歌声にも感動しました。

音楽会まで中心となって指導してきた遠藤教諭が、講師の先生から「全校でこんなにソフトでやさしい歌声を響かせることができるのはすばらしい」とほめていただいたと報告してくれました。

今回の歌声のように、これからも全校で力を合わせ、思いやりとやさしさあふれる豊岡をつくっていきます。